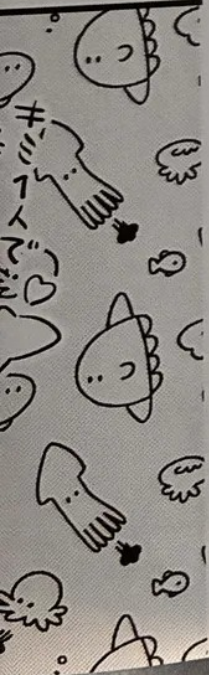






親父が
遅い





ほ
いいじゃ
ねエか

って
言ってた
のになア...



これ
かなん
と

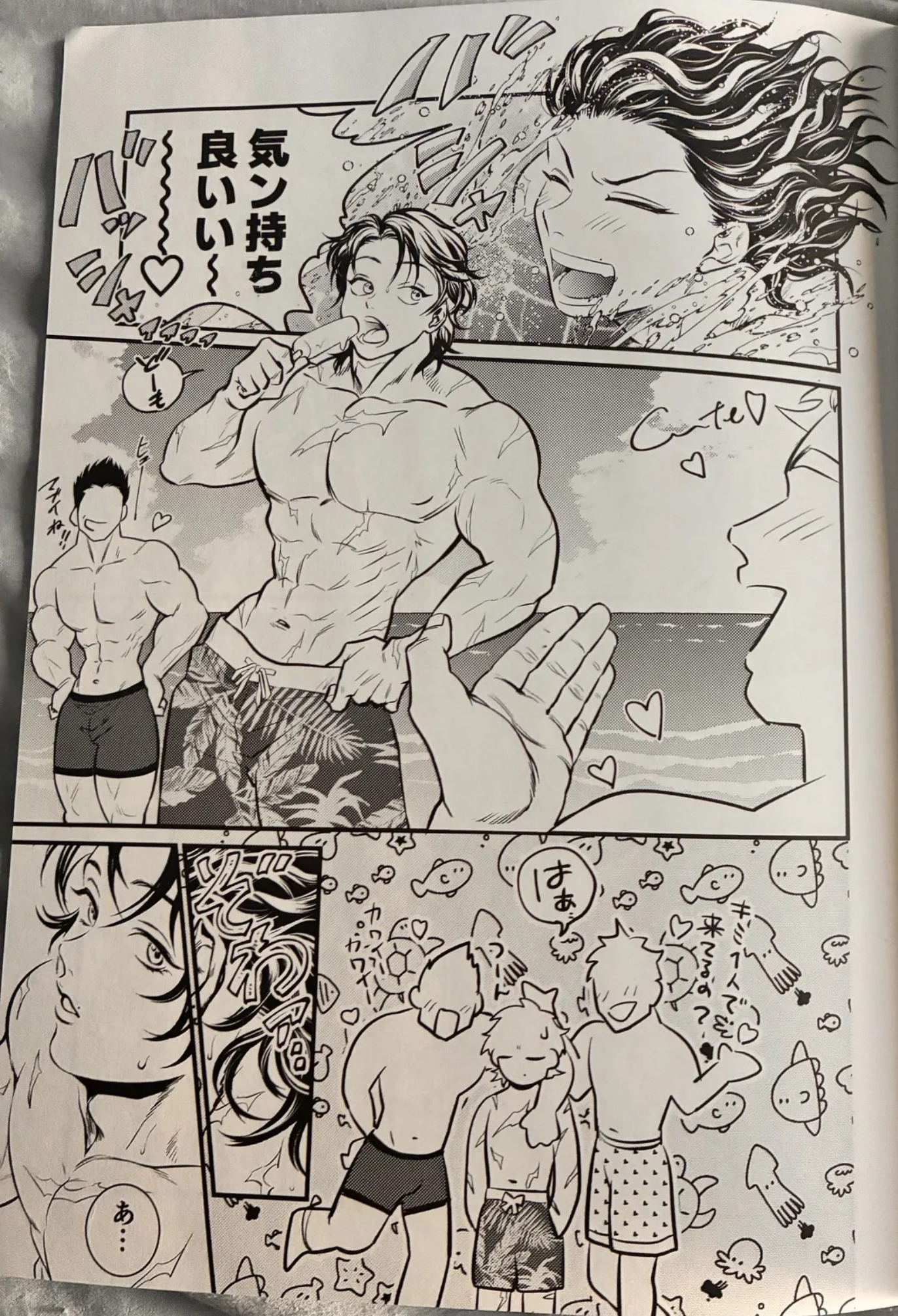
おそろい!!

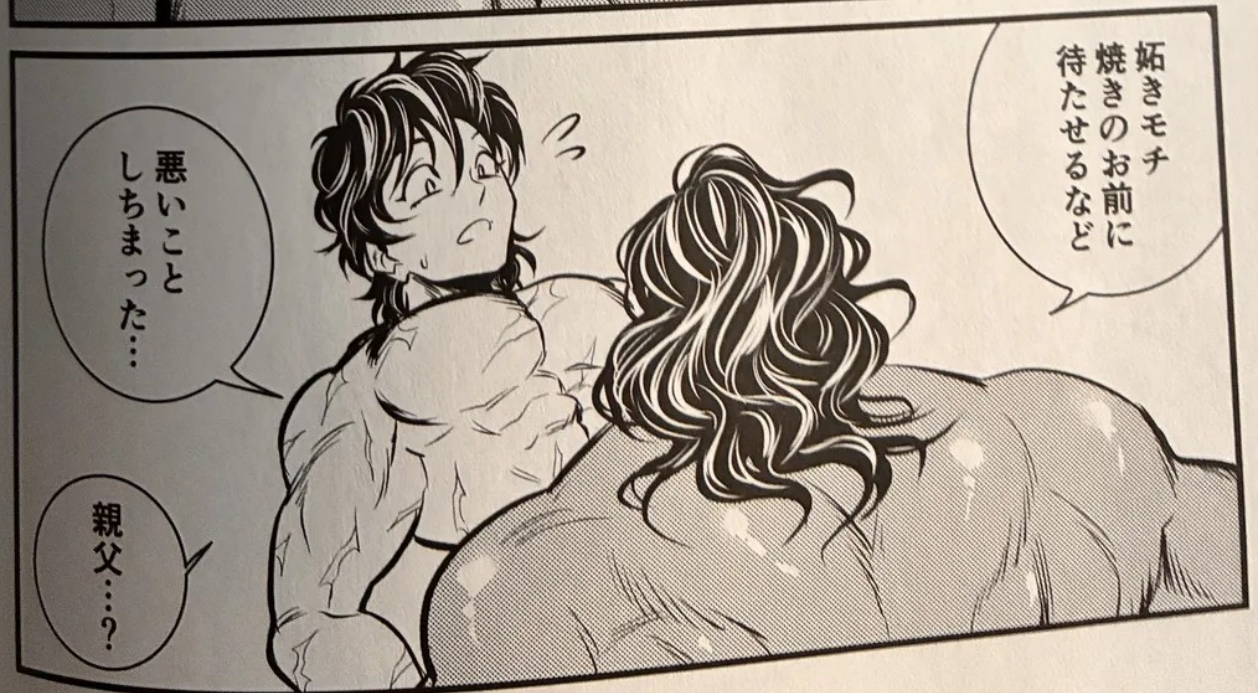


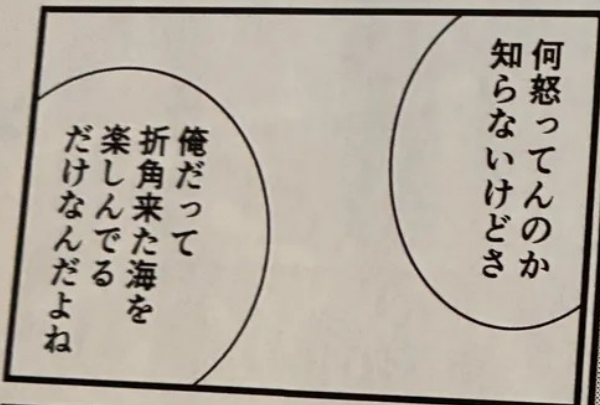
いいもんね

俺だって
別に1人でも
楽しめるし

ばか親父







やけに
喧しいと
思っ
て
来てみれば

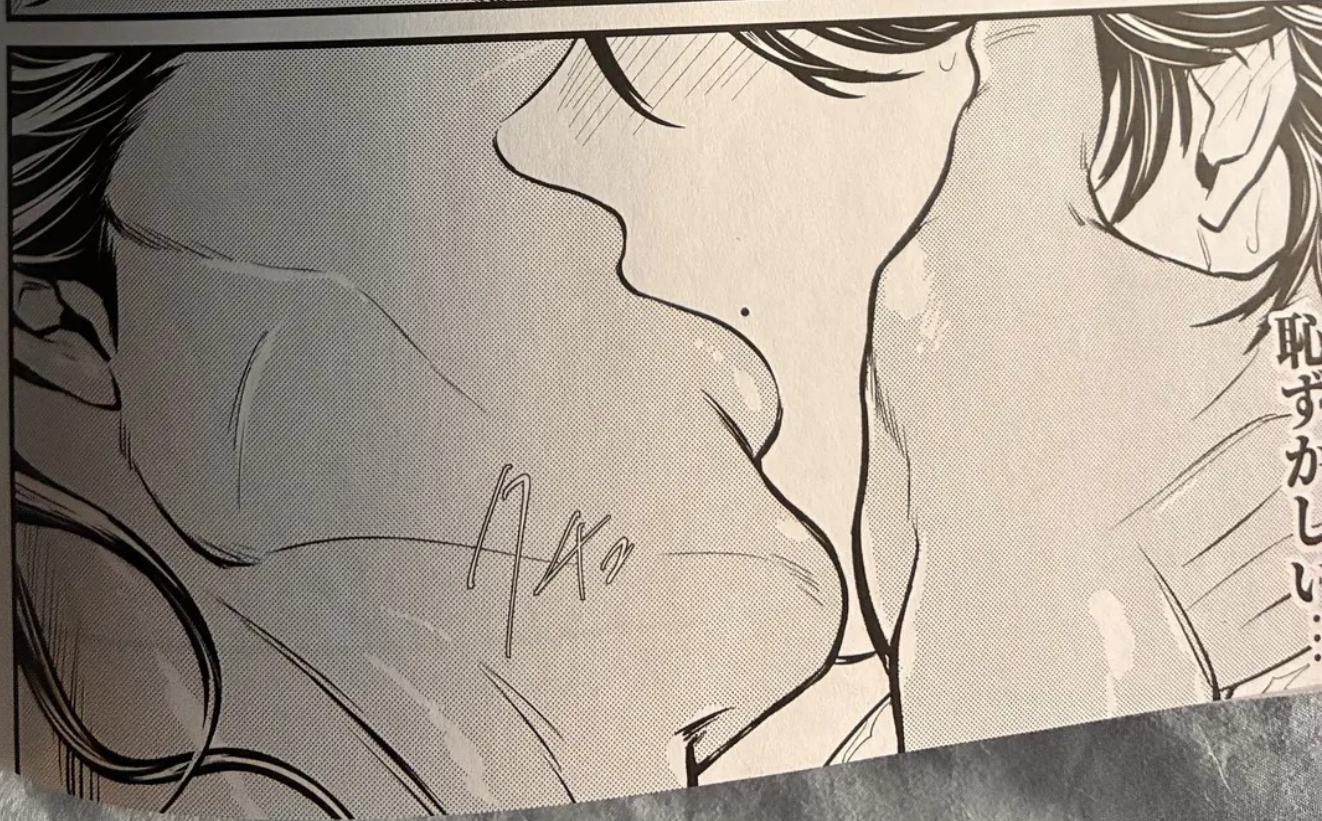
刃牙……
お前エ
何してやが

刃牙……
お前エ
何してやがる

親父…

ついて来い





という訳だ

愛しい倅に
詫びを、な

シッポおへ

え

詫びって？
あの親父が
俺に?!?!?!?

確かに俺は
怒ってるけど
こんなんでも
機嫌が直るとか…

あ…

刃牙…



構わねえよ

出しちまへ



ねえ

おッ

出ちゃう
から!

親父い



地上最強の

さすが
おやじ…

圧倒的雄ッッ

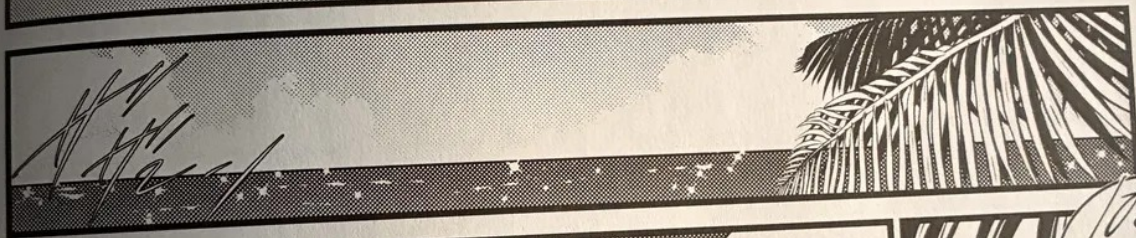
理解っちゃいたけれど
こんなところで
お目にかかるとは



テイル



ちエ...
なんか
誤魔化されてんの
かな...俺



なるほど...
確かに
その通りだな



俺は親父が
居なくて
寂しかった
たんだよ?

俺にだって
親父を
好きにする
権利はあるよね



こんなことして
俺の機嫌が
直ると思った?

理解つちやいたけれど

こんな場所
だけでよ...

そうじゃねえ

お前の貌を
見ているだけでも
楽しいぜ？

でもな

フフ...

ごめん...
気持ちよく
なかった？

そろそろ俺も
お前を感じたい

あ...
親父...ッ

開始める



触られても
ないのに
俺……



身体が
熱くて……

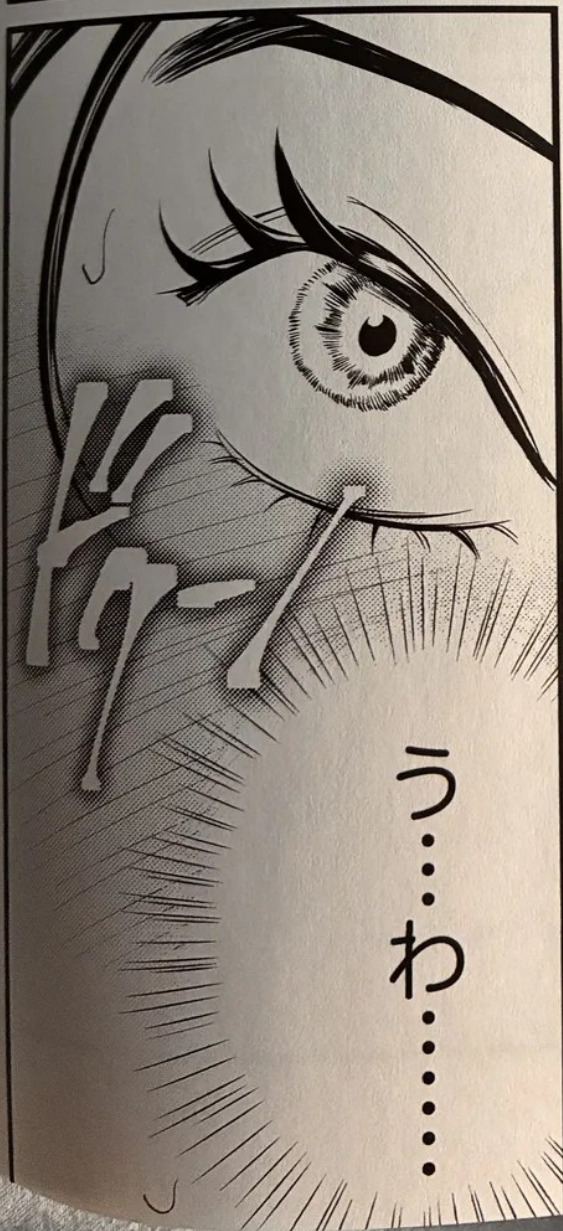
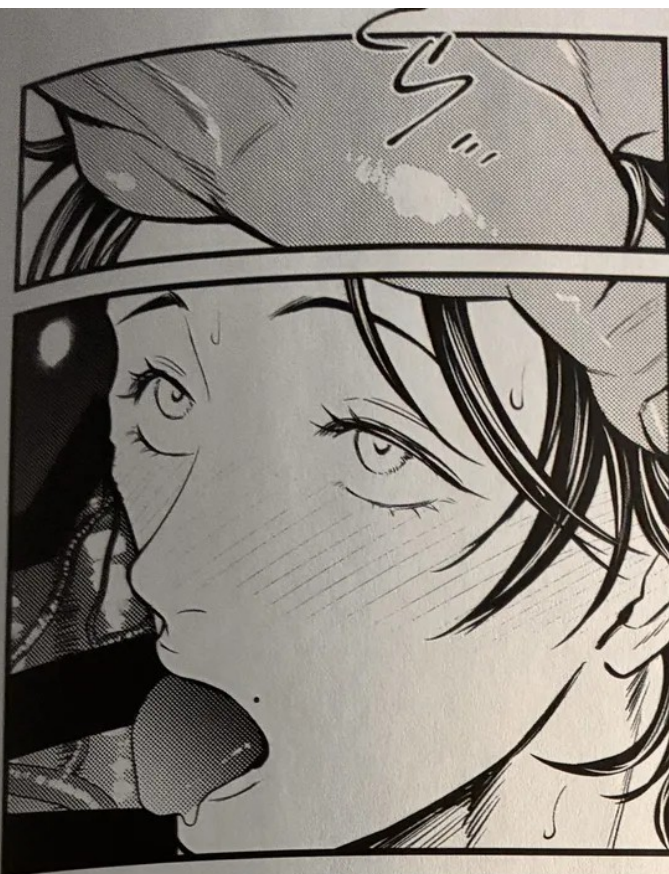


また……



刃牙……
もういい

ネ



こんな場所
だけだよ...

そんな...

場所なんて
今更...
でしょ

俺達

フフ...

ごもつとも

ヒ...

俺もさ...

もう我慢
できないや

はは...





はあ

おまえの
ちいせえケツに
入るように

うそろか

しっかり
解さねエとな

うん...

あッ

うあッッ

うッッッ...

アッ

アッ



挿入っ、たね...
血管...すこ...



刃牙



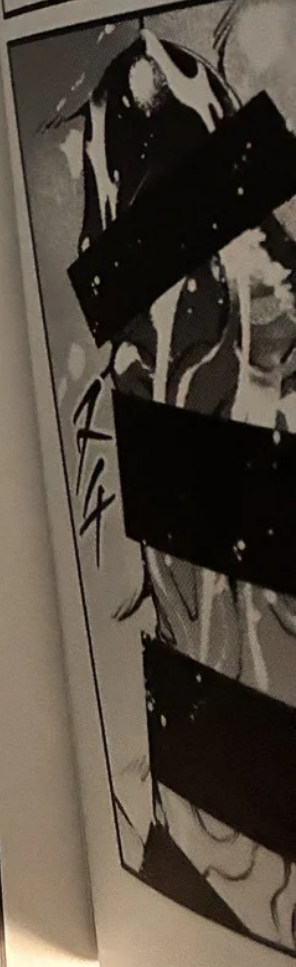
残り半分だ

舌噛むなよ



ン...

うん...



ん

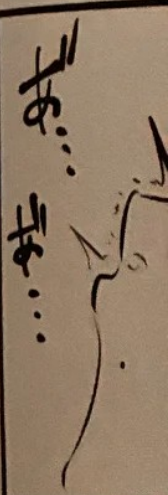


親父が俺の中に
いるだけで
しあわせで
満たされる……

嬉しいなア

きゅん

おや…じ…



俺、また



親父の
全部今
俺の
ナカに
挿入っ
て
.....

凄
い
重
み
と
質
量
感
あ
ま
り
に
も
熱
く
て
身
体
が
燃
え
た
ぎ
る
み
た
い
だ
.....

に
も
か
か
わ
ら
ず
緩
や
か
な
動
き
.....

親父いッ
俺また



何でだろ…
いつも以上に
親父がかっこ良く
見えちゃうよ…

そうか？
奇遇だな
俺もだ…



太陽の下で
眩しく笑う倅に

親父♡

恋しちゃった
のかも
しれねえな…

そんなこと
言ったら
俺だって！

フフ…

真夏の空の下
親父と何度も格闘りあって
心も身体も満たされた